

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	地域・職域連携推進事業費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度		担当課室	がん対策・健康増進課保健指導室		保健指導室長 山田 敏充		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-10-1 地域住民の健康の保持・増進及び地域住民が安心して暮らせる地域保健体制の確保を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	「地域保健医療等推進事業の実施について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域保健と職域保健の連携により、健康づくりのための健康情報の共有や、保健事業を共同実施するとともに、保健事業の実施に要する社会資源を相互に有効活用し、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制を整備することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	広域的な地域・職域連携を図り、地域の実情に応じた協力体制を構築することによって生涯を通じ継続的な保健サービスを提供するため、都道府県単位または二次医療圏単位で地域・職域連携推進協議会を設け、管内の地域保健と職域保健が連携して実施する保健事業等について企画・立案・実施、評価等を行う。 【補助率:1/2】							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	42	52	52	49	50	
		補正予算	14					
		繰越し等						
	計	56	52	52	49	50		
	執行額	48	46	54				
執行率(%)	85.7	88.4	103.8					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	保健所保健師及び市町村保健師数		成果実績	人	23,900	24,984	集計中	対前年度以上
			達成度	%	97.8	100	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	事業実施自治体数		活動実績 (当初見込み)	実施自治体数	54 ( - )	52 ( - )	51 ( - )	— ( - )
単位当たりコスト	2,171(円/成果実績)		算出根拠	平成23年度執行額/平成23年度市町村保健師数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	地方向け補助金	49	50					
	計	49	50					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	地域の実情に応じた協力体制を構築することによって生涯を通じ継続的な保健サービスを提供することができ、国民のニーズがある事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	地域の実情に応じた協力体制を構築し生涯を通じ継続的な保健サービスの提供体制を整備・構築するためには、国が実施要綱を定め、補助を行う必要がある。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	地域の実情に応じた協力体制を構築することによって生涯を通じ継続的な保健サービスを提供・健康危機管理体制を整備・構築するために必要であり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	補助金交付にあたり、事業に要する経費について精査を行っている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	健康づくりのための健康情報の共有や、保健事業を共同実施するとともに、保健事業の実施に要する社会資源を相互に有効活用し、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制を整備するために必要な費目を補助対象経費としている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	-	-	-		
点検結果	保健事業は、健康増進法や労働安全衛生法、健康保険法等に基づき行われているが、根拠法令によって目的や対象者、実施主体、事業内容がそれぞれ異なることから、地域保健と職域保健が連携し、健康情報と健康づくりのための保健事業を共有し、地域全体の健康状況の把握等を行うことが重要である。また、24年度は各点検項目において妥当であり、成果、実績も達成されているため、適切に執行された。今後さらに効率的な執行を図る必要がある。				
	外部有識者の所見				
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	地域住民への保健サービスを主とする地域保健と、就業者の安全及び健康確保を図る職域保健との連携により、生涯を通じた切れ目のない保健サービスの提供を図るための事業であるが、事業の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	292	平成23年	0266	平成24年	0230

平成24年度

厚生労働省  
54百万円

〔 交付申請書の内容審査、交付決定、補助事業者の指導監督等 〕

【補助】

A. 都道府県・保健所設置市  
51自治体 54百万円

〔 地域・職域連携推進事業の実施 〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

A.静岡県			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
報償費	連絡会・協議会等委員報酬	2.6			
その他	協議会委員旅費・協議会資料印刷費等	2.2			
計		4.8	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	静岡県	地域・職域連携推進事業の実施	4.8		
2	千葉県	地域・職域連携推進事業の実施	3.5		
3	和歌山県	地域・職域連携推進事業の実施	2.5		
4	長野県	地域・職域連携推進事業の実施	2.5		
5	岩手県	地域・職域連携推進事業の実施	2.2		
6	東京都	地域・職域連携推進事業の実施	2		
7	青森県	地域・職域連携推進事業の実施	1.8		
8	広島県	地域・職域連携推進事業の実施	1.5		
9	長崎県	地域・職域連携推進事業の実施	1.4		
10	千葉市	地域・職域連携推進事業の実施	1.3		